

2014年8月3日(日)
岩手山(2038m)後発組
～ Report by 石井～ (photo by 高橋(文)さん・石井)

今回の岩手山は、先発組と後発組に分けて出発し、「岩手山の山頂で合流する」プランとなった後発チームのメンバーは、能勢さん・高橋(文)さん・吉松さん・石井の4人である



8月3日、早朝4:00頃には起床
身支度を整え、宿で用意して貰った
朝食を開く

いつもながら、食べ始めてから
撮る事を忘れてしまっていること
に気付いてしまう



能勢さん・高橋(文)さんは
昨夜の飲み過ぎと早池峰山の
疲れも見せず
食欲旺盛?の様子

吉松さんは登りの途中で頂くようだ
石井は、オニギリ+卵焼きを食して
あとは、ごめんなさいとした



出発にあたって
ぬくもりの里(NUC)の玄関前にて
記念撮影

今日は、長丁場なだけに、体力と気力と
水分+サプリメントの補給が勝負だ

熊本さんの
今日は「2L以上は必要だ!」の声が
こだましているようだ



5：30頃に馬返し駐車場に到着
前方に見える岩手山の山頂は快晴
絶好の登山日和だが、酷暑が予想される

今頃、先発チームは、どの辺りだろうか？



駐車場近くの水場で、しっかりと給水
冷たくておいしい
高低差：1408m
往復距離：約11.8Kに備える

持ち帰って珈琲をいれてみたが
嫁さん、曰く「ややマイルド」と
のたまうた



登山口へと向かう
馬返し・柳沢コースの旧道を歩く予定
ガレ場・ザレ場ありの
陽射しが厳しい尾根道となるようだ



薄暗い林間の登山道を少し行くと
何やら、いい香りがして来た
見ると「ヤマホトトギス」が
あちこちに咲いている
蘭のような芳香だったので、これかもしれない
だが、確かめるのを忘れてしまった（残念）



6:00を少し回った頃
0. 五合目に到着
「0. 五合目」とは珍しい
約1. 5 kmを進んだ勘定だ



ここで、小休止
昨夜の酒？か、早朝故か
さえない表情の面々
能勢さんは咳があり
酸素供給が上手くいかないと
ぼやいている



木立の隙間から、遠く盛岡の市街地が見え始めている



一合目も通過し、更に進んでいくと小さな祠があった
山岳信仰の山らしく、隨所で目にした



歩き始めて小一時間ほどが経過
メンバーのペースは
なかなか上がらない

このコースは、ほぼ一本調子の登りで
確実に高度は稼げるのだが
歩きは楽ではない



暫く行くと、最初のガレ場が登場した
ここから上方・奥に見える七合目までが
旧道の正念場となる

樹林帯も抜け、真夏の強烈な陽射しに
晒されることになりそうだ

道々行きながら、おもしろい花を見つけた。「ミヤマホツツジ」（深山穗躑躅）らしい
雌しへの先の「かぎ状の曲がり」が特徴とあるが、この3本とも、どうも、そうらしいのだ
亞種？の多いところなのだろうか
これだけ一度に出会えると、うれしくなってしまう。ゆっくり探せば、もっとあったのかもしれない





ガレ場の途中の木陰で小休止

少々バテ気味の皆さん

吉松さんは

トレッキングパンツまで

ビショビショになってしまっている

体調不良か？表情が冴えない

「昨夜、飲みすぎたかな」と

ブツブツ



6：50過ぎ

やっと、三合目に到着

つい先程まで、先発メンバーが

休憩していたらしい

熊本さん用意の

「ハンディトーキー」の威力だ

ガレ場付近には、美しい花たちが咲いていた



クルマユリ



これもミヤマホツツジか?
(花が若いので判別不能)



ウツボグサ



ミヤマ
シャジン
(深山紗夢)



ギボウシ
(白花)



ギボウシ
(青花)

四合目を過ぎた辺りから、俄然、眺望が良くなつて来た



雲海の向こうは「栗駒高原」と思われる



更に、歩いていると
すぐ近くに、先発組がいるとの
連絡が来た
これまでのお疲れモードが嘘のように
一気にやる気を出す組員

文さんは
いつものマスクを外してポーズ
団塊世代は戦闘モードに入り易いのか



7:15

ガレ場の上方に先を行く
小山さん・伊能さん達の
後ろ姿を捕捉！！
ターゲット・オン



川島さんと根岸さんに接近中の
高橋（文）さん・能勢さん・吉松さん
なんだか、山岳レースをやっているようで
面白い・・・

「もう来たの～？」と川島さんの声がする



五合目、目前

なんじゃこりや～
「プラン通りには、いかんな～」と
全員を見下ろす
熊本さんの表情は、苦笑いか？



ということで、めでたく・・・?
五合目で合流
しばし、「仲良く小休止」となった



8：10
五合目を早立ちする
先発チームを見送った



以後は先発隊レポートに続く・・・